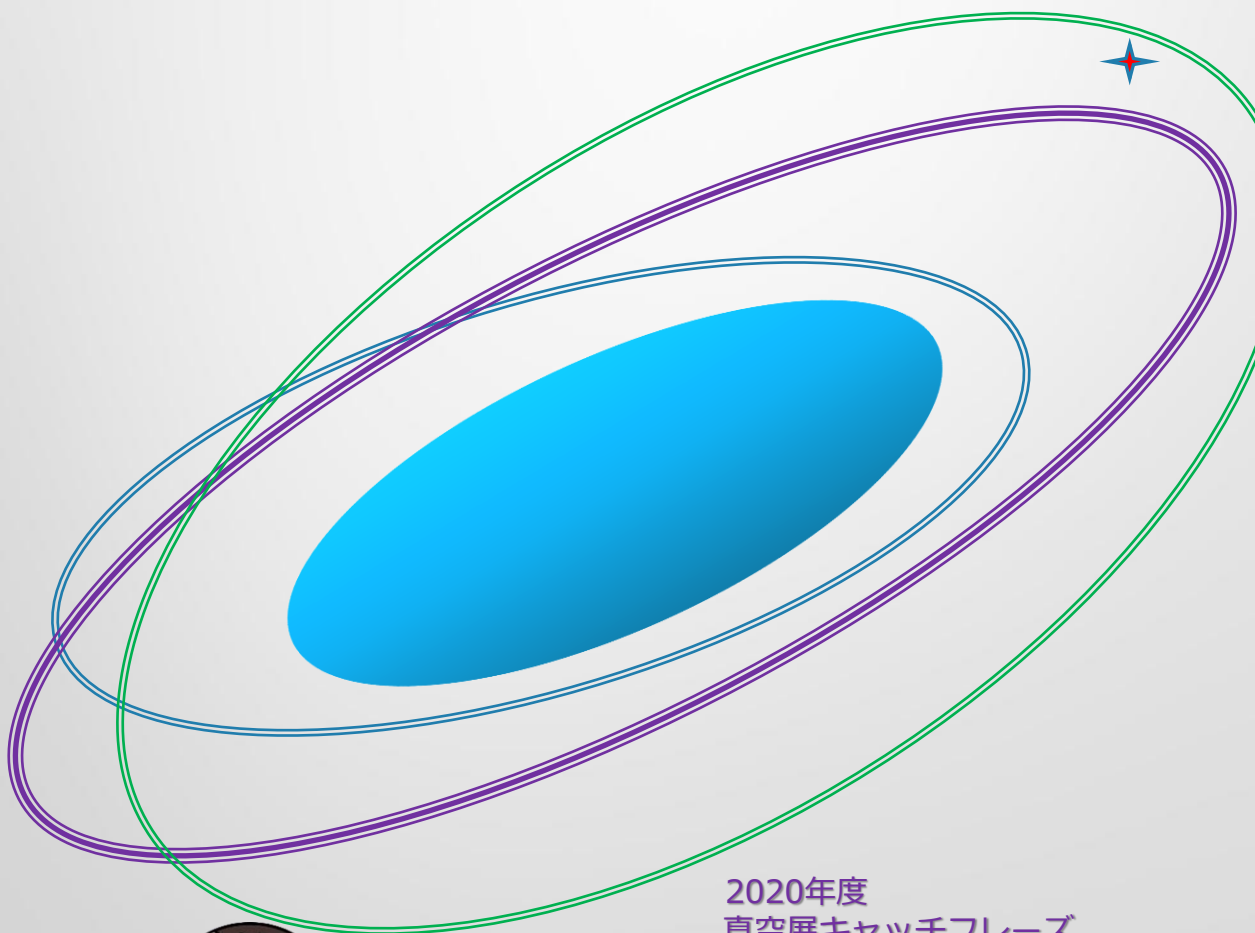


・・・夢・技術・未来



事業案内

BUSINESS GUIDE



2020年度
真空展キャッチフレーズ
真空でつくる新時代



一般社団法人 **日本真空工業会**



一般社団法人 日本真空工業会と真空産業



ごあいさつ

この度一般社団法人 日本真空工業会 第20代会長を仰せつかりました末代政輔でございます。

長い歴史と輝かしい伝統をもつ日本真空工業会の会長職を務めさせていただくことは私にとって大変光栄なことであり、責任の重さを痛感しているところであります。

新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、感染拡大防止を目的とした経済活動の自粛によって2月以降の日本経済は急速な縮小を余儀なくされてまいりました。

しかし、感染拡大ペースの鈍化を受けた部分的な自粛解除が始まってまいりましたが、回復速度は緩やかなものにとどまる公算が大きく、当面は「コロナ以前」に比べて低い水準の経済活動と、産業の構造転換が続くと予測されます。会員の皆様方におかれましても事業への影響は避けられない状況と思いますが、ポストコロナ社会に適応するにあたり、働き方改革、業務改革に取り組まれていることと思います。

そのような状況の中でも、真空工業会は、その活動を通して会員ひとりひとりの交流を活発にする場所を提供することが工業会としての大きな役目であると思います。また国を超えた世界の真空業界との交流、専門情報の交流の場はもちろんのこと、世代を超えて専門を超えて交流できる機会を増やしたいと考えます。ひとりでも多くの会員様が真空工業会員であることに意味を見出していただくことを期待しています。

工業会の皆様と力を合わせ、より一層の発展の為に誠心誠意勤めてまいりますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本真空工業会 会長 末代 政輔

歴代会長

理事・監事リスト

2020年6月22日現在

通年	年度	歴代	会長 (所属会社)
0	1985	1	斎藤 泰蔵 (徳田製作所)
1	1986	2	織田 善次郎 (日電アネルバ)
2	1987		
3	1988	3	笠岡 玄一郎 (大阪真空機器製作所)
4	1989		
5	1990	4	近藤 繁一 (日本真空技術)
6	1991		
7	1992	5	和泉 巖 (日電アネルバ)
8	1993		
9	1994	6	鈴木 三郎 (芝浦製作所)
10	1995		
11	1996	7	上野 朝生 (日本真空技術)
12	1997	8	中村 久三 (日本真空技術)
13	1998	9	西平 俊二 (アネルバ)
14	1999		
15	2000	10	角 忠夫 (芝浦メカトロニクス)
16	2001		
17	2002	11	廣瀬 政義 (荏原製作所)
18	2003		
19	2004	12	今村 有孝 (アネルバ)
20	2005		
21	2006	13	加藤 孝幸 (島津製作所)
22	2007		
23	2008	14	諏訪 秀則 (アルバック)
24	2009		
25	2010	15	南 健治 (芝浦メカトロニクス)
26	2011		
27	2012	16	辻村 学 (荏原製作所)
28	2013		
29	2014	17	酒井 純朗 (キヤノンアネルバ)
30	2015		
31	2016	18	篠原 真 (島津製作所)
32	2017		
33	2018	19	小日向 久治 (アルバック)
34	2019		

JVIA役員	氏名	会社名	所属・役職
会長	末代 政輔	株式会社アルバック	専務取締役
副会長	酒井 純朗	キヤノンアネルバ株式会社	代表取締役社長
副会長	辻村 学	株式会社荏原製作所	フェロー
副会長	眞下 忠	神港精機株式会社	代表取締役社長
副会長	藤田 茂樹	芝浦メカトロニクス株式会社	代表取締役 社長執行役員
関西支部長	渡邊 明	株式会社島津製作所	常務執行役員
専務理事	武田 清	一般社団法人日本真空工業会	専務理事
常任理事	小俣 邦正	株式会社昭和真空	代表取締役 執行役員社長
常任理事	富田 良幸	住友重機械工業株式会社	常勤顧問
常任理事	佐藤 弘悦	佐藤真空株式会社	代表取締役社長
常任理事	福田 浩章	日本電子株式会社	常務執行役員
常任理事	横山 徹	大亜真空株式会社	代表取締役社長
常任理事	黒岩 雅英	東京電子株式会社	代表取締役社長
常任理事	三島 尚志	日立造船株式会社	常勤顧問
理事	笠岡 一之	株式会社大阪真空機器製作所	代表取締役社長
理事	成田 正哉	株式会社シンクロン	代表取締役社長
理事	野島 新也	株式会社フジキン	代表取締役社長
理事	中川 佳治	新明和工業株式会社	産機システム事業部付
理事	福谷 克之	新明和 (バンコク) 株式会社	代表取締役社長
理事	福谷 克之	公益社団法人日本表面真空学会	副会長
監事	入江 則裕	入江工研株式会社	代表取締役社長
監事	小林 久也	アルバックテクノ株式会社	代表取締役社長

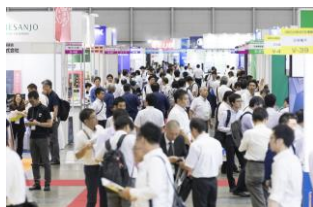
真空展

「真空展」は、真空技術と関連機器の成果を展示する総合真空技術展で、毎年秋に東京ビックサイトで開催しています。3日間の開催期間中には10,000人近くの来場者があります。真空機器の展示会としては世界最大規模となります。



真空入門講座

これから真空産業に関わる方々が真空の基礎的知識を得るための講座です。



真空フォーラム

今話題の新技术を取り上げ、真空産業との新しい接点を見いだします。



真空ウォーキングコース (真空技術基礎講習会)

真空技術の基礎をわかりやすく理解できる講習会を毎年開催しており、大好評をいただいております。真空産業に携わる方々はもとより真空を利用されるユーザー、これから真空の分野で力を発揮される方々に広く受講していただける実習中心の講習会です。

第25回会場 工学院大学



油回転ポンプ分解・組立の実習



薄膜作製技術の実習

真空技術者資格認定制度

一般社団法人日本真空工業会は公益社団法人日本表面真空学会と合同で真空技術者の質を高水準に保ち真空技術者の学習意欲を高めるため、2003年から真空技術者の資格認定を行っています。

一般社団法人日本真空工業会

関西支部

関西支部は関西地区の会員活動の場です。関西支部総会から始まり、若手交流会 (JVIA-WEST)、秋季合同講演会、関西支部会、見学会など活発な行動を繰り広げています。



海外視察ツアー

アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアにおける真空産業の企業訪問、展示会見学など世界の技術交流によって優れた国際感覚を身につけます。また、ツアーを利用した視察、異文化との触れ合いの中で得た体験や参加者どうしの交流がその後の会員の大きな力となっています。



若手交流会 (JVIA-EAST)

JVIA-EASTは、JVIA会員企業各社の若手交流とビジネスチャンス増大を目的とし、関東圏での「若手交流会」として2005年に発足しました。活動内容は、毎年春と秋に交流会行事を企画しています。春は企業・研究機関等の見学会、秋は会員企業の社員とそのご家族にご参加いただけるレクリエーションをコンセプトに開催しております。



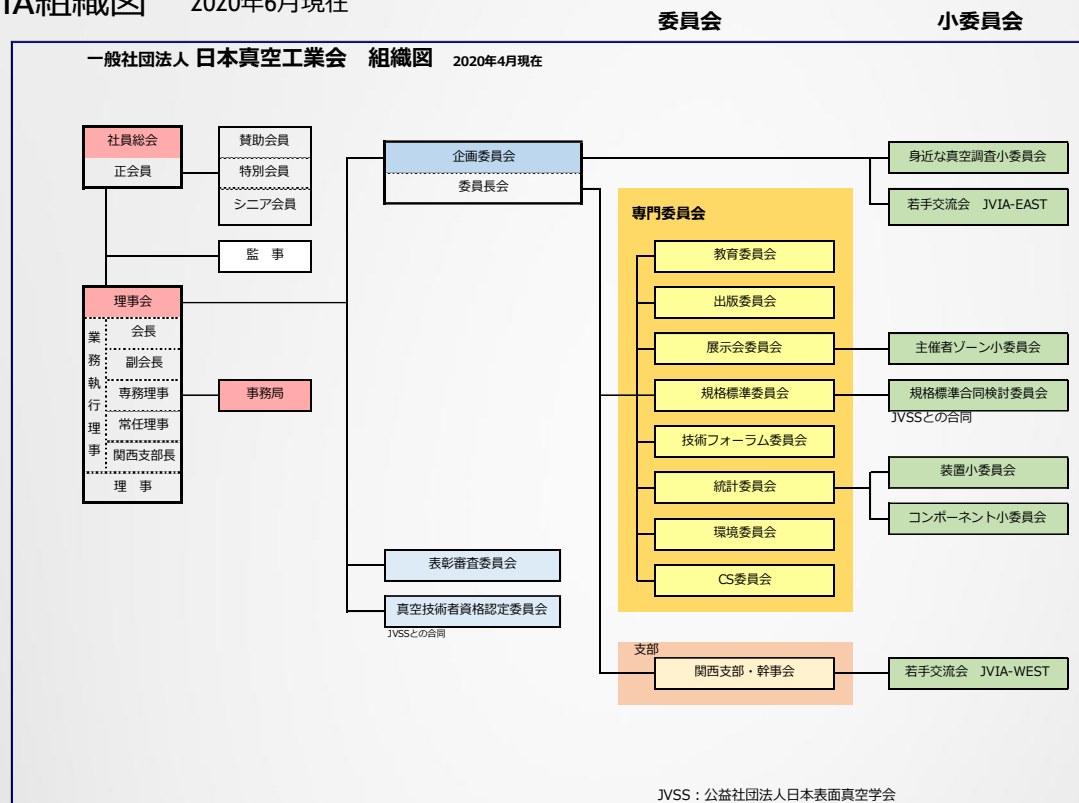
サプライヤ交流会

「国際競争力アップに向けた真空産業交流会」と題して日本真空工業会会員様方と会員様のサプライヤ・協力会社が一堂に会して、サプライヤ交流会を開催しています。



組織

2020年度 JVIA組織図 2020年6月現在



関西支部

西日本地区で活動する会員企業により構成され、会員相互の強調親睦を図るために総会・講演会・見学会・及び懇親会など随時支部会を開催しています。

企画委員会

企画委員会は（一社）日本真空工業会の定款に照らし、その目的を遂行するためにどのような事業を展開すべきかを提案し、理事会・委員長会議にその結果を諮ることにより、各委員会の活動を推進しています。

教育委員会

真空技術関連技術者の教育の重要性を認識し、初歩的な真空技術者の教育としては真空技術基礎講習会(真空ウォーキングコース)等を実施しています。さらにその応用編として真空技術実践講座（予定）も行っています。

出版委員会

真空技術情報誌「真空ジャーナル」の編集企画から取材・校正・発行までを担当し、技術誌を通して真空技術の教育及び普及に努めています。

展示会委員会

展示会委員会は、毎年1回開催される「真空展」の企画と運営を担当しています。フォーラム小委員会は最新の真空応用技術を取り上げ、講習会を開催しています。主催者ゾーン小委員会の企画した「真空展主催者ゾーン」は毎年好評で、真空を分かりやすく理解するのに役立っています。

規格標準委員会

JISやISO規格等の真空関連規格の見直しや新たな規格を、（公益）日本表面真空学会との合同委員会「規格標準合同検討委員会」で検討し、（一社）日本規格協会、ISO当局に提案して真空関連規格の整備を行っています。

技術フォーラム委員会

技術フォーラム委員会は真空展のフォーラム・シンポジウムでの講演テーマを決定し、技術レポートをまとめ、結果を真空ジャーナルにまとめて会員に提供しています。

統計委員会

JVIA会員の取り扱う真空機器の受注売上統計調査を行い、参加会員に配布するとともに、その一部を公表し、真空業界をアピールする活動を行っています。装置小委員会とコンポーネント小委員会で構成されています。

環境委員会

会員企業に対して環境に配慮した製品開発・製造を革新するための様々な啓発活動を行っています。毎年秋に環境活動報告書を発行し、真空ジャーナル、JVIAWebサイトに環境保全資料を公開しています。また、各種セミナーを実施して、環境関連の最新情報を提供しています。

CS委員会

真空機器の製造及び取り扱い環境の中で、作業安全や健康維持、保全作業に関わる調査を行い、会員企業に情報提供を行っています。さらに安全教育講座を実施しています。

会員構成

1. 正会員

真空機器等を生産・販売する事業を営む会社、並びにそれらを主たる構成員とする団体

2. 賛助会員

上記以外で、本会の目的に賛同し活動に協力頂ける会社・団体

3. 特別会員

官公庁またはそれに準ずる団体であって、本会の目的に賛同し活動に協力頂ける団体

4. シニア会員

シニア会員は、JVIA会員会社を退職した個人で、JVIA定款の趣旨に賛同するものとします。

入会金及び会費

入会金及び会費は下記の通りです。

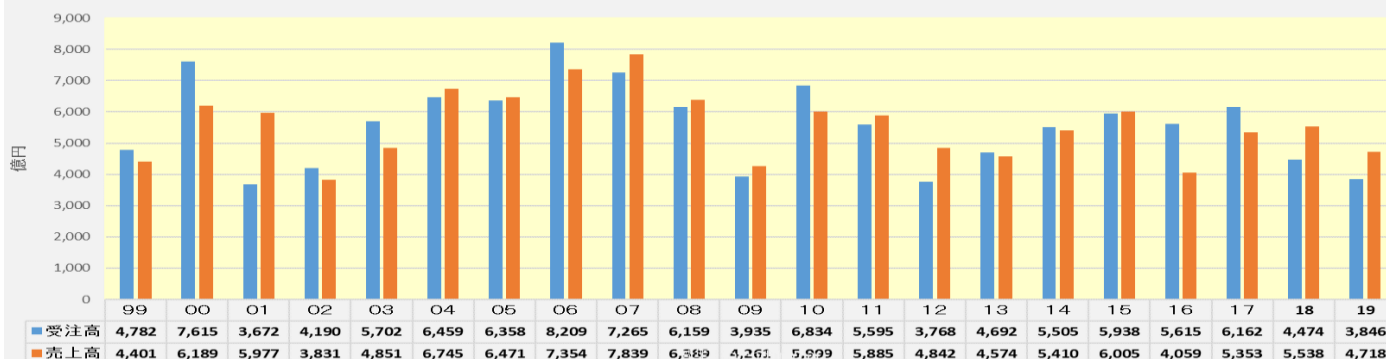
※入会ご希望の方は事務局までお問い合わせいただくか、JVIAホームページより入会申込書をダウンロードしてお申し込みください。

正会員 入会金 10万円 賛助会員 入会金 5万円

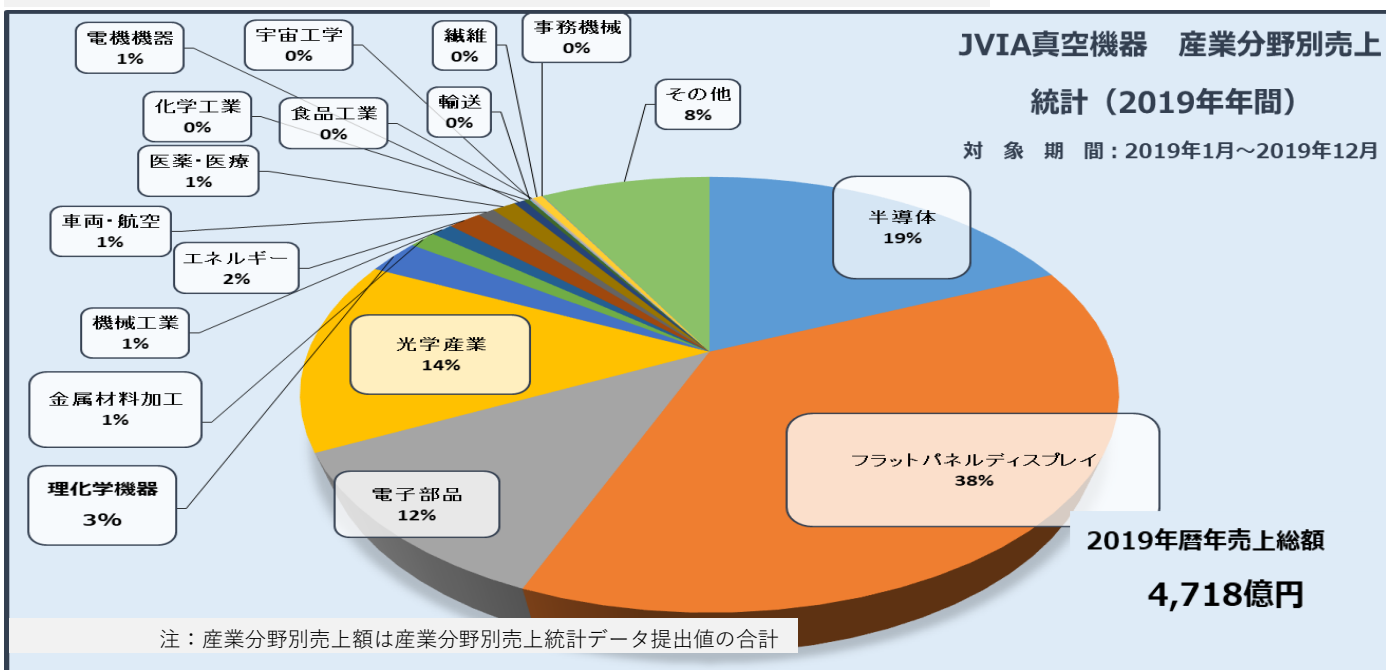
年間売上高 (億円)	クラス	会費 (万円)		資本金 (億円)	会費 (万円) 年額
		月額	年額		
500以上	A	12	144	100以上	42
300以上500未満	B	11	132	1以上100未満	36
200以上300未満	C	10	120	0.3以上1未満	30
100以上200未満	D	9	108	0.1超0.3未満	24
50以上100未満	E	7	84	0.1以下	12
30以上50未満	F	5	60	シニア会員 入会金無料 会費 は年額 5,000円	
10以上30未満	G	4	48		
5以上10未満	H	3.5	42	注(1)年間売上高は毎期3月31日又は3月31日に近い 決算の真空関連部門の売上高 注(2)期中入会の場合の会費は月割り計算とします	
3以上5未満	I	3.0	36		
~3未満	J	2.5	30		

JVIA 真空機器の受注・売上推移 暦年

JVIA 統計



JVIA 真空機器の産業分野別売上統計 2019年



正会員	油 回 転 ポン プ	ド ラ イ ボ ン プ	タ ー ボ 分 子 ポ ン プ	そ の 他 の 真 空 ポ ン プ	バ ル ブ	真 空 計	そ の 他 の 単 体 機 器	P V D	C V D	エ ッ チ ン グ	治 金 ・ 熱 処 理 装 置	そ の 他 の 装 置 類	装 置 関 連 部 品	中 古 品 ・ メン テ ン サ ー ビ ス	そ の 他 の 事 業
アズビル株式会社						●									●
アナスト岩田株式会社		●										●		●	●
アユミ工業株式会社					●			●				●		●	●
株式会社アルバック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アルバック機工株式会社	●	●	●		●	●	●					●		●	●
アルバック・クライオ株式会社				●								●		●	●
アルバックテクノ株式会社	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
株式会社アンレット		●	●			●						●			
入江工研株式会社					●							●			
インフィコン株式会社					●	●	●					●		●	
S M C 株式会社					●							●		●	
エドワーズ株式会社	●	●	●	●	●	●						●		●	●
株式会社荏原製作所		●	●									●			
株式会社荏原フィールドテック		●	●									●		●	●
株式会社大阪空気機械製作所	●	●	●	●	●					●	●	●		●	●
株式会社大阪真空機器製作所	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●		●	●
大阪ラセン管工業株式会社												●			
株式会社岡野製作所		●			●							●			
株式会社オプトラン						●	●	●	●	●	●	●		●	●
カワソーテクセル株式会社												●			
キヤノンアネリバ株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
キヤノントッキ株式会社								●	●			●		●	
佐藤真空株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社サンリック								●	●	●	●	●		●	●
三和真空株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
芝浦エレテック株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
芝浦メカトロニクス株式会社								●	●	●	●	●		●	●
株式会社島津製作所		●				●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社昭和真空	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社シンクロン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
神港精機株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
日本製鉄株式会社												●			
新明和工業株式会社			●			●	●	●	●	●	●	●		●	●
住友重機械工業株式会社			●									●		●	●
大亜真空株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社大成金属工業所					●							●		●	●
東京電子株式会社					●	●						●		●	●
日本電子株式会社								●				●		●	●
日立造船株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社ヒラノK&E								●	●			●		●	●
株式会社バイテックス					●							●		●	●
株式会社フェローテック												●		●	●
株式会社フジキン					●							●		●	●
株式会社フジ・テクノロジー					●							●		●	●
三菱電線工業株式会社												●		●	●
株式会社ムサシノエンジニアリング			●				●		●	●	●	●		●	●
株式会社ヤマト	●	●	●	●	●	●					●	●		●	●
株式会社吉川製作所	●	●	●	●	●	●						●		●	●
ライボルト株式会社	●	●	●	●	●	●						●		●	●
株式会社リガク												●			
若井田理化学株式会社	●		●	●	●							●		●	●
赤田工業株式会社						●								●	●
旭国際テクネイオン株式会社								●						●	●
株式会社旭精機	●	●	●	●	●	●	●	●						●	●
アストロニクス株式会社															●
株式会社アドバンテック	●	●	●	●	●									●	●
アリオス株式会社					●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
アルバック販売株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
アルバック九州株式会社	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
アルバック・ファイ株式会社					●									●	●
イハラサイエンス株式会社					●									●	●
VAT株式会社								●						●	●
株式会社エムテック														●	●
株式会社岡崎製作所								●						●	●
檜山工業株式会社		●	●											●	●
北野精機株式会社														●	●
株式会社グリーンテック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
コスモ・テック株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社コンサス					●	●									
株式会社サンナノテクノロジー														●	●
株式会社サンバック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社シー・エヌ・ティ														●	●
島津産機システムズ株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社昭和螺旋管製作所														●	●
株式会社真空プラズマ														●	●
株式会社Sinteg								●						●	●
鈴木機械株式会社														●	●
大晃機械工業株式会社		●	●											●	●
株式会社田崎アサヒ														●	●
株式会社ツバコー・ケー・アイ														●	●
東製株式会社	●	●	●											●	●
東北三吉工業株式会社															●
東洋ステンレス化工株式会社														●	●
東和工業株式会社														●	●
ナイス株式会社														●	●
ナガセテクノエンジニアリング株式会社					●	●								●	●
日造精密研磨株式会社														●	●
日本特殊機械株式会社														●	●
一般社団法人日本半導体製造装置協会														●	●
一般財団法人日本品質保証機構														●	●
日本ブッシュ株式会社	●	●	●	●	●	●								●	●
株式会社ニューフレアテクノロジー														●	●
伯東株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
株式会社ビバス															●
株式会社富士交易	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
プランゼー・ジャパン株式会社														●	●
株式会社マルマエ														●	●
株式会社ミスミ														●	●
株式会社MURONE														●	●
株式会社三田工業所		●													●
株式会社MORESCO														●	●
株式会社山川機械製作所															●

特別会員（11団体）

国立研究開発法人 科学技術振興機構	産学基礎基盤推進部 先端計測室
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	計測標準研究部門 カ学計測科 圧力真空標準研究室
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	先進製造プロセス研究部門
熊本県 商工観光労働部	新産業振興局企業立地課
国立大学法人 豊橋技術科学大学	電気・電子情報工学系
国立大学法人 山口大学	大学院理工学研究科
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所	電子技術部
独立行政法人 労働安全衛生総合研究所	電気安全研究グループ
鹿児島県 商工労働水産部	産業立地課
公益財団法人やまぐち産業振興財団	事業活動支援部
光学薄膜研究会	



入って良かった（一社）日本真空工業会

入会のメリット



J V I Aニュース・J V I A会員専用Webサイトから情報入手できます。

- 経済産業省・官公庁諸団体からの情報をタイムリーに受け取ることができます。
- 各種助成金や経済政策などの情報も連絡窓口の方に適宜メールで配信します。
- 過去の真空ジャーナル記事が電子ファイルで入手できます。



メリット1

会員価格で真空展へ出展することができます。

- 一般企業の出展料は、1小間344,100円。会員企業なら1小間322,500円と21,600円お得。また、複数小間割引も利用できます。



メリット2

最新の真空市場の動向や関連業界の動向を知ることができます。

- 統計に参加すれば真空市場の市場動向と国際統計の情報も入手することができます。
- 一般社団法人日本真空工業会で調査した特定市場の調査情報を入手することができます。
- 真空市場に関するセミナーを会員価格で聴講することができます。



メリット3

真空技術の基礎教育や実務教育を会員価格で受講することができます。

- 真空展の会期中に開かれる真空の初心者向けの「真空入門講座」
- 真空を基礎から学べる実習を中心とした3日間の講習「真空ウォーキングコース」
- 入社数年目の若手実務者に最適な「真空技術実践講座」
- 実習による排気速度の測定と成膜評価を学べる「真空技術実習講座」（計画中）



メリット4

安全教育・環境教育を会員価格で受講ができます。

- 業界に特化した環境動向や作業安全、労働安全衛生法が学べる「環境・安全教育講座」
- 環境関連の各種規制の動向が学べる「環境セミナー」



メリット5

J V I Aの刊行物や各種調査報告書を入手することができます。

- 関連企業や最新技術の紹介など真空に関する情報が満載の定期刊行物「真空ジャーナル」
- 会員企業からの情報を集計したJ V I Aの「環境活動報告書」
- 真空関連作業従事者必見の「保全作業安全ガイドライン」
- 真空用語や真空技術などの真空関連情報が満載、業界関係者のバイブル「真空ポケットブック」



メリット6

J V I Aの各種イベントに参加できます。

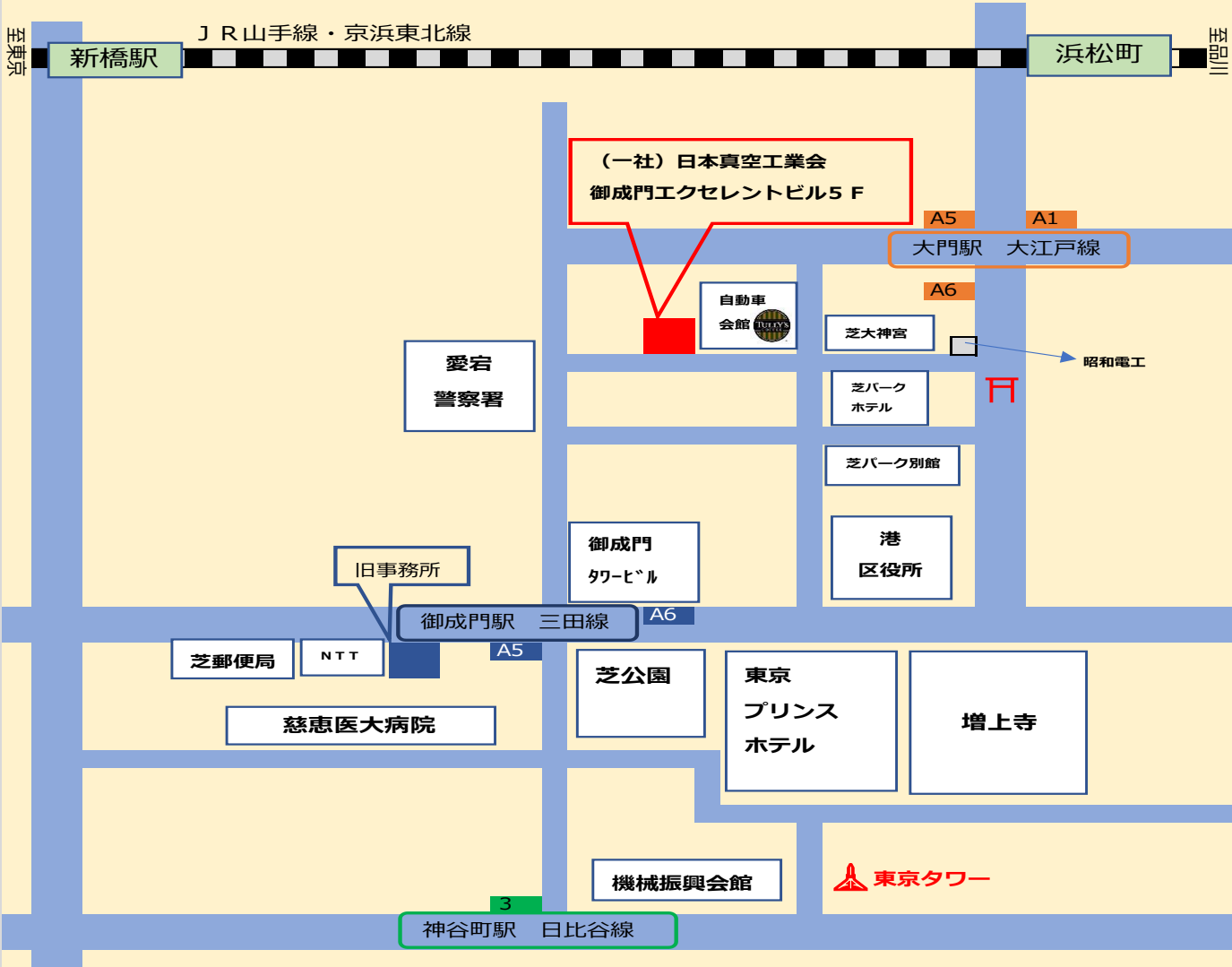
- 国内、海外の真空関連企業や団体を訪問する「企業視察」に参加できます。
- 各種専門委員会や小委員会、関西支部へ参加することによって幅広い人脈形成に役立ちます。



メリット7

一般社団法人日本真空工業会 事務局 案内図

〒105-0012 東京都港区芝大門 1 - 1 - 3 2
TEL 03-3459-1228 FAX 03-3459-9405



交通

- 都営三田線「御成門駅」出口A6 徒歩6分
- 都営大江戸、浅草線「大門駅」出口A6 徒歩6分
- 東京メトロ日比谷線「神谷町駅」出口3 徒歩15分
- J R山手線・京浜東北線「新橋駅」 徒歩20分
- J R山手線・京浜東北線「浜松町駅」 徒歩10分



真空博士



真空の木



マグデ君